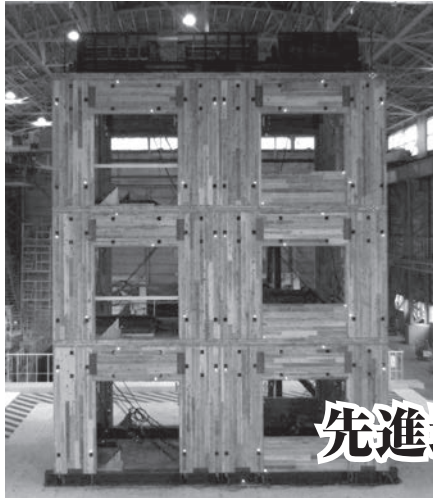




CLTフォーラム 10月24日、東京大学で

2010-1001
2012-1130
2012-0613
2013-0910

直交集成板の新JAS年度内に 先進地の技術経緯と国内制度の進捗ほか

日本CLT協会(中島浩一郎会長)は10月24日(木)午後1時から東京大学・弥生講堂一条ホールでCLTフォーラム2013を開催する。2013年度内の新JAS制定を控えて注目が高まるCLTについて先進地・ヨーロッパの専門家の講演を聞くとともに、意見・情報を交換する。

日本CLT協会のCLTフォーラムは2012年11月30日に東京・市ヶ谷の法政大学で開催した第1回に続き、今回が2回目。大型木造建築を可能にする新しい木質材料として注目を集めるCLTは「主としてひき板の繊維方向を直角に積層接着した一般材(CLT)」に関する日本農林規格の制定のための原案作成委員会が今年3月26日、4月17日に開催し、原案は「直交集成板」の日本農林規格(JAS)の制定案として6月13日に公表、意見・情報を募集した(パブリックコメント、～7月12日)。

新JAS案は9月4日開催の(2013年度第2回)農林物資規格調査会での議決を受け、9月10日に現状を公表、10月9日まで製造業者等の認定の技術的基準、検査方法、格付の表示の様式及び表示の方法に関して林野庁がパブリックコメントを募集中。2013年度内(～2014年3月末)には新JAS制定の運びとなる。

急速に進む関連制度の準備状況を踏まえた今回のCLTフォーラムは10月24日(木)午後1時から東京大学の弥生講堂一条ホール(東京都文京区弥生1-1-1、東京大学農学部内)で開催する。フォーラムは2部構成で、第1部は先進地・ヨーロッパの専門家の講演。オーストリア・グラーツ工科大学のゲルハルト・シックホフ教授が「CLT～ヨーロッパにおける経験」(CLT - European

Experience)をテーマに講演する。

シックホフ教授(Gerhard Schickhofer)はグラーツ工科大学で土木工学を学び、1994年に博士課程修了。CLTに関する博士論文でヨゼフ・ウムダッシュ(Josef-Umdasch)賞(1995年)、CLTを用いたパッシブハウスのプロジェクトではヨーロッパ・イノベーション・アワード(2004年)を受賞するなど数々の賞を受賞。1999年にグラーツ工科大学助教授となり、ホルツパウ・フォアシュンクス(holz.bau forschungs、木造建築研究)社の責任者、兼科学部門長を務める。2004年に教授となり、グラーツ工科大学木材工学・木材技術研究所所長。

第2部は東京大学・有馬孝禮名誉教授がコーディネーターになり、シックホフ教授、法政大学・網野禎昭教授、ベターリビングつくば建築試験研究センター・岡部実主席試験研究役、工学院大学・河合直人教授、日本CLT協会・中島会長らが意見を交換する。

参加費は無料、定員250名、申し込み締め切りは10月15日(火)。詳細は日本CLT協会・事務局(岡山県真庭市勝山1209)まで。

電話0867-44-2697

